

かわいい豆本みつけた ～よみがえる現代豆本館コレクション～



平成30年

2/17^土～3/30^金

藤枝市郷土博物館・文学館

静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内)

藤枝市郷土博物館・文学館

 検索

TEL 054(645)1100 FAX 054(644)8514 Eメール muse@city.fujieda.shizuoka.jp

博物館特別展「かわいい春みつけた～日本の人形」同時開催

休館日 月曜日、祝日の翌日(3/22) 開館時間 9:00-17:00

入館料 大人400円(団体20名以上320円)、中学生以下無料
障害者手帳等をご提示の方と介助者は無料

各地のいろんな豆本がずらり



日本各地の郷土豆本



海外の豆本

豆本とは、手のひらに収まってしまおうような、きわめて小型の本の総称です。その歴史は古く、ヨーロッパでは16世紀頃に、日本では江戸時代後期に流行しました。戦後になって札幌で「ゑぞ豆本」が刊行されたことを契機に全国的ブームとなり、高度経済成長期になると愛好家による豆本の出版が行われ、小川国夫の『サラゴサ』(かながわ豆本の会)など、藤枝ゆかりの作家の豆本も出版されました。

手のひらサイズのものから1mm以下のものまで、様々な大きさや形・デザインを持つ豆本からは、印刷・製本技術の高さや、小さいものに挑み、それを愛で楽しむ心を垣間見ることができます。

昭和42年(1967)には、藤枝で皮膚科医を営んでいた小笠原淳氏(1912-1986)が、自ら収集した様々な豆本を展示した「現代豆本館」を藤枝市岡出山に開館し、注目を集めました。(現代豆本館は平成15年(2003)頃閉館)

今回の企画展では小笠原氏の貴重なコレクションや、当館で収集している藤枝ゆかりの豆本から、小さいながらも意匠を凝らした、珍しく可愛い豆本を多数展示します。小さな豆本に秘められた人々の技術や心を感じていただければ幸いです。



在りし日の現代豆本館



現代豆本館にて豆本を手にする小笠原淳(左)と小川国夫(中央)

藤枝ゆかりの豆本



『サラゴサ』(かながわ豆本)



『写経のころ』(静岡豆本)

その他、珍しい豆本がいっぱい!



1cm以下の豆本「マイクロブック」



明治・大正時代の豆本

写真では伝わらない小さな豆本の魅力をその目で確かめよう!

ミュージアムコンサート

ミュージアムコンサートは申込不要、直接会場へ

2/18 かわいい童謡コンサート

子ども達による可愛い合唱をお楽しみください。

会場 文学館 講座学習室
定員 80名
参加料 大人は入館料が必要
出演 島田児童合唱団
 カナリヤ
曲目 春の小川、朧月夜、月の沙漠ほか



3/11 懐かしい日本の歌 ~春・旅立ち~

春の季節にぴったりの童謡唱歌を情感豊かに歌います。

会場 文学館 講座学習室
定員 80名
参加料 大人は入館料が必要
出演 実胡(抒情歌手)
曲目 青い目の人形、毬と殿さま、うれしいひなまつりほか



イベント・ワークショップ

2/24 豆本づくりワークショップ

小さくて可愛い豆本を実際に作ってみましょう。

会場 博物館 講座視聴覚室
定員 各回 20名(申込順)
参加料 100円
対象 小学2年生以下は要保護者同伴
申込み 2/14(水)から電話・ファックス・Eメールで郷土博物館・文学館へ



3/3 ひな祭り着物ショー

ひな祭りに合わせて、幼児からシニアまで総勢60名による着物ショーをお楽しみいただき、日本の着物文化にふれてみましょう。
 ※申込不要・直接会場へ

会場 博物館エントランスホール
参加料 大人は入館料400円、中学生以下無料
協力 ふじえだ花藤会